

## 平成 9 年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種 レタス「サマーランド」		
[ 要約 ] 4 月下旬から 5 月上旬に播種される「テキサスグリーン」は、高温年では結球葉中肋部の突出や変形球の発生など品質面で問題を抱えている。この時期「サマーランド」は結球葉中肋部の突出が少なく、玉揃いに優れている。					
キーワード	レタス	品種	サマーランド	県北農業研究所 産地育成研究室	

### 1. 背景とねらい

高冷地における夏秋レタスの栽培は、3 月から 7 ~ 10 日間隔で計画的に播種され、6 月から 10 月までの長期継続出荷を実現している。現在レタスの品種は低温伸長性の良いカルマー系から抽だいの遅い高温期に適応性を示すエンパイヤ系まで栽培時期の気候に最も適した品種が作型ごとに導入されている。

この中で、低温期から初夏どり作型で栽培されている「テキサスグリーン」は結球期の温度が高くなる 4 月下旬から 5 月上旬播種作型において、高温年では結球葉中肋部の突出や変形球の発生など品質面で問題を抱えている。この時期「サマーランド」は結球葉中肋部の突出が少なく、玉揃いに優れているので、その特性を紹介する。

### 2. 技術の内容

#### (1) 来歴

昭和 62 年、マック系品種とサリナス系品種の交配種から選抜し、平成元年、「サマーランド」として発表された。

#### (2) 特性概要

ア バンガード（サリナス）系の品種で、初夏どり栽培において結球性が良い。

イ 球形は扁平で、球重は「テキサスグリーン」並みである。

ウ 心径は「テキサスグリーン」より小さい。

エ 結球葉中肋部の突出も少なく、形の良い品種である。

オ 結球葉の葉色は「テキサスグリーン」より若干淡い。

#### (3) 品種育成元

横浜植木株式会社

### 3. 普及上の留意事項

(1) 高温長日条件下では抽だいしやすいので、5 月下旬以降の播種は行わない。

(2) 腐敗の発生は「テキサスグリーン」より多く見られるので防除を徹底する。

### 4. 技術の適応地帯

(1) 適 応 地 域 高冷地

(2) 適 応 作 型 4 月下旬 ~ 5 月上旬まき

(3) 普及見込み面積 120 ha

### 5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜 2 - 1 - ( 3 ) - ア地域適応性に優れた品種の選定 (イ)レタス

### 6. 参考文献・資料

岩手県園芸試験場高冷地開発センター平成 5 年度試験成績概要

7. 試験成績

表1 収穫時の生育

は種期 (月・日)	品 種 名	全重 (g)	調整 重(g)	球重 (g)	球高 (cm)	球径 (cm)	同左 C.V. <sup>1)</sup>	心径 (cm)	心長 (cm)
1 H5.4.20	テキサスグリーン	901	642	538	11.9	14.3	-	3.1	3.2
2	サマーランド	925	710	619	11.0	15.6	-	3.0	3.6
3 H9.4.21	テキサスグリーン	690	489	388	14.2	15.7	11.2	3.2	4.2
4	サマーランド	648	455	372	11.1	13.8	5.3	2.8	3.9
5 H5.5.10	テキサスグリーン	853	631	526	12.9	14.9	-	3.2	4.0
6	サマーランド	756	694	500	11.2	14.9	-	3.1	3.7
7 H9.5.9	テキサスグリーン	837	620	526	13.5	13.8	4.7	3.4	6.3
8	サマーランド	820	629	547	11.2	13.7	4.5	3.0	5.7
9 H5.5.20	サクセス	705	625	527	13.2	14.6	-	3.0	3.8
11	サマーランド	577	497	435	11.0	14.4	-	2.8	3.6
12 H9.5.20	サクセス	1280	947	774	13.4	14.5	8.8	3.2	5.3
13	サマーランド	1021	799	706	11.7	14.0	7.5	3.2	7.3

<sup>1)</sup>{標準偏差/平均}×100

[ 摘要 ]

「サマーランド」は「テキサスグリーン」に比べ心径が小さい。

表2 収穫時の品質

品 種 名	葉色 <sup>1)</sup>	球形 比 <sup>2)</sup>	球緊 度 <sup>3)</sup>	結球葉中肋部 の突出		発生株割合(%)					平 均 収穫日 (月・日)
				割合(%) <sup>4)</sup>	程度 <sup>5)</sup>	偏形	竹口	縁腐	心腐	腐敗	
1 テキサスグリーン	25.6	0.83	41.1	5	5.0	0	0	0	0	0	7.14
2 サマーランド	23.9	0.71	46.5	10	20.0	0	0	0	0	20	7.16
3 テキサスグリーン	29.3	0.90	26.0	45	20.0	35	0	5	0	5	7.18
4 サマーランド	22.6	0.80	29.9	5	1.7	10	0	15	0	10	7.18
5 テキサスグリーン	28.8	0.87	37.8	55	51.7	0	0	0	0	20	7.30
6 サマーランド	27.7	0.75	38.3	10	11.7	0	0	0	0	25	7.28
7 テキサスグリーン	33.8	0.98	38.5	10	3.3	30	0	5	0	50	7.21
8 サマーランド	30.2	0.82	38.5	10	6.7	0	0	0	0	40	7.21
9 サクセス	22.4	0.90	37.9	5	10.0	15	0	0	0	50	8.9
11 サマーランド	28.9	0.76	34.3	40	40.0	0	0	0	0	10	8.3
12 サクセス	27.6	0.92	55.5	5	3.3	25	10	0	0	30	8.5
13 サマーランド	32.0	0.83	48.9	20	8.3	0	0	0	0	25	8.5

<sup>1)</sup>葉緑素計SPAD-502示度、結球葉頭頂部を測定 <sup>2)</sup>球高/球径 <sup>3)</sup>球重/{(球高+球径)/2} <sup>4)</sup>小：わずかに認められる(指数1) 中：明らかに認められる(指数2) 大：突出程度が甚だしい(指数3)

<sup>5)</sup>(突出程度別株数×指数)×100/調査株数×3

[ 摘要 ]

「サマーランド」は「テキサスグリーン」に比べ比較的結球葉中肋部の突出が少ない。